

# 花沢アイクリニック通信

第118号

R2年10月



## コレクションはありますか？



こんにちは。院長の梅津由子です。

最近はずっとコロナの話題ばかりでしたので、今回は久しぶりに気楽な内容でお送りしたいと思います。

皆さんは何か集めているもの、凝っていることなどあるでしょうか？

私は、「箸置き」を集めています。集めているといっても40個くらいで、まだコレクションというほどのものではありませんが、旅行に行って街歩きしたとき目に留まったものや、ホテルや旅館の売店で気に入ったものなど購入しています。小さいので荷物にならないし、お値段も手ごろなので気軽に購入できます。その中のいくつかを紹介したいと思います。



①箱根のミュージアムショップで購入した寄せ木細工の箸置き。いろいろな樹木の自然の色を生かした精緻な幾何学模様が特徴です。

②焼き物市で買った九谷焼。ペアの折鶴が色鮮やかでかわいい。

③北海道に旅行した時、小樽の「北一硝子」で購入したもの。深い緑に金箔がゴージャスな雰囲気です。

④マレーシア旅行でクアラルンプール市内をぶらぶらしてふと入った真鍮製品のお店で購入した金魚。細かな細工が美しくリアルです。

⑤ドイツの名窯、マイセンの作品。形といい、白磁に丁寧に描かれた美しい模様といい気品あふれる逸品です。

⑥ベトナムに旅行した時に購入した、水牛の角でできた愛らしい鳥の形をした箸置き。ベトナムはこういうチープでかわいいものがたくさんあって、また行ってみたい国の一つです。

⑦こちらもガラスの箸置きですが、ミルフィオリという小さなお花を束ねたような模様が特徴のベネチアングラスの一種です。ベネチアは行ったことがなく一度は訪れてみたい憧れの水の都です。

新しい日常の元、旅行やイベントなどが徐々に緩和されてきた今日この頃ですが、まだまだ自由に旅行できるような状況ではなく、寂しい限りです。ワクチンや治療薬が充実し、お気に入りの箸置きを get しに旅行ができる日が待ち遠しいです。

# 目玉いきいきライフ

目玉いきいきライフのコーナーでは、  
目の健康に関する情報や、  
耳より情報（眼科だけどっ）をお届けします。



## 待合室の絵について



こんにちは。事務長をやっています梅津です。「芸術の秋」ということで、今回は待合室にある油絵についてご説明します。「どなたの作品ですか？」と時々問い合わせがあるのですが、描いているのは私の叔母にあたる大分在住の広瀬光代さんという方です。まだ叔父が存命の頃、いろいろな所に連れて行ってもらい一生懸命描いていたそうです。私がたまたま大分を訪れた時に、二階の部屋に立てかけてある絵を見て、クリニックにほしいと頼んで送ってもらいました。



### ◀ 藤河内溪谷（大分県佐伯市）

2017年6月にユネスコエコパークとして登録されました。大自然に囲まれた8kmも続く溪谷です。一面の花崗岩の間にある木々が見事に紅葉し、遊歩道などが整備されているので、紅葉の名所として人気を集めています。



### 阿蘇山と田園（熊本県側から）

熊本県の高森町から根子岳を臨む。

2017年の水害でかなりの打撃を受けましたが、15年前のこの頃は穏やかな大自然の中でした。

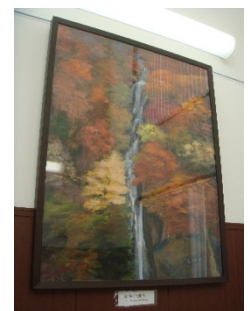


### ◀ 藁屋根とコスモス（大分県玖珠郡玖珠町）

この地は藁屋根の家が多く残っていて、住む人がなく荒れている所も多くありましたが、手入れをして大事に住んでいるかたも多くいらっしゃいます。

### 震動の滝雌滝（大分県の西部、玖珠郡九重町）▶

2006年に九重夢大吊橋が完成し、吊り橋の上から雄滝も雌滝も苦勞せずに見ることができますが、15年前は細い道を下って鳴子川溪谷まで下りて描きました。



院内には、他にも絵画や写真が飾ってありますので、ぜひご覧ください。

